

医療機器の共同利用計画の提出について

1 医療機器の共同利用計画について

平成30年（2018年）7月に公布された「医療法及び医師法の一部を改正する法律」（医療法改正）に基づき、本県では、令和2年（2020年）3月に「岩手県外来医療計画」を策定。

人口当たりの医療機器の台数には医療機器ごとに地域差があり、今後人口減少が見込まれる中、医療機器の効率的な活用ができるよう、医療機器の共同利用を推進することとしているもの。

2 提出状況について

県では、上記計画に基づき、令和2年4月1日以降にCT・MRI等の対象医療機器を設置・更新した医療機関において「医療機器共同利用計画書」の提出を求め、各圏域の地域医療構想調整会議で、その内容を確認することとしている。

また、国の定める「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」に基づき、医療審議会に対しても報告を行うもの。

【今年度新たに届出のあった医療機器共同利用計画書の概要】

圏域	医療機関名	医療機器	設置年月日	共同利用の方針等
盛岡圏域	岩手医科大学 附属病院	マルチスライスCT (Aquilion Start TSX-037A/2B 1台)	R4.4.25	共同利用しない (感染症対策センターに 設置しているため)
	岩手医科大学 附属内丸メディ カルセンター	MRI (1.5テスラ以上 3.0テスラ未満) (SIGNA Voyager1.5T 1 台)	R5.3月	共同利用しない (職員の数が少なく 共同利用の受入れ調整 が困難なため)
	荻野病院	MRI (1.5テスラ以 上3.0テスラ未満) (MRT-2020 1台)	R4.7.1	共同利用しない (共同利用の受入れ調 整が困難なため)
胆江圏域	県立胆沢病院	リニアック (VitalBeam 医療用リ ニアック 1台)	R4.12	共同利用を行う (共同利用の相手方医 療機関からの患者照会 にて受入)